



2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社アズーム 上場取引所 東
コード番号 3496 URL https://azoom.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅田洋司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 馬場涼平 TEL 03-5365-1235
定時株主総会開催予定日 2025年12月19日 配当支払開始予定日 2025年12月22日
有価証券報告書提出予定日 2025年12月16日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の連結業績(2024年10月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	13,479	27.9	2,613	43.0	2,607	42.7	1,831	42.2
2024年9月期	10,541	27.4	1,828	42.6	1,827	42.8	1,288	46.5

(注) 包括利益 2025年9月期 1,830百万円 (42.4%) 2024年9月期 1,285百万円 (46.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	153.62	151.64	34.7	36.1	19.4
2024年9月期	109.07	107.54	41.0	38.3	17.3

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期 ー百万円 2024年9月期 ー百万円

(注) 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	8,894	6,831	76.7	555.68
2024年9月期	5,554	3,749	67.1	315.44

(参考) 自己資本 2025年9月期 6,819百万円 2024年9月期 3,727百万円

(注) 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	1,948	△459	1,178	5,737
2024年9月期	1,337	△253	△106	3,071

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00	147	11.5	4.7
2025年9月期	—	0.00	—	212.00	212.00	1,300	69.0	24.7
2026年9月期(予想)	—	63.00	—	63.00	126.00		70.3	

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期及び2025年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年9月期(予想)の1株当たりの配当金は、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3 2025年9月期期末配当金内訳 普通配当 132円00銭 記念配当 80円00銭

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,750	22.6	1,310	13.3	1,300	12.5	900	18.3	73.33
通期	17,000	26.1	3,150	20.5	3,140	20.4	2,200	20.1	179.27

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年9月期	12,272,400株	2024年9月期	12,053,600株
2025年9月期	226株	2024年9月期	236,552株
2025年9月期	11,924,803株	2024年9月期	11,808,869株

(注) 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年9月期の個別業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	12,868	27.1	2,255	38.4	2,281	38.1	1,613	37.5
2024年9月期	10,122	28.6	1,629	49.4	1,652	49.5	1,173	52.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期	135.32	133.58
2024年9月期	99.42	98.02

(注) 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	8,144	6,386	78.3	519.76
2024年9月期	5,132	3,521	68.2	296.36

(参考) 自己資本 2025年9月期 6,378百万円 2024年9月期 3,502百万円

(注) 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期への配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって、緩やかに景気が持ち直していくことが期待されております。ただし、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、アメリカの通商政策の影響などが当社グループに与える影響は不透明であり、今後も引き続き注視し、適切な対応を講じてまいります。

また、当社株式は2025年6月24日に東京証券取引所グロース市場から東京証券取引所プライム市場へ市場区分を変更いたしました。当社グループは、創業以来「不動産×IT」を掲げ、遊休不動産の問題をITの力で解決することで上場以来増収増益を実現してまいりました。今後も当社の企業理念『世界から「もったいない」をなくそう』の実現と企業価値の最大化に向け邁進いたします。なお、2025年7月31日に開示しました「業績予想の修正(上方修正)及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、市場区分変更の記念として2025年9月期の通常の期末配当に加えて、期末配当時に1株あたり80円の記念配当を実施いたします。

当社グループの経営環境としましては、遊休資産活用事業に主として関連する駐車場業界において、インターネットを活用した月極駐車場の紹介依頼需要は増加しており、オフィスビルや分譲マンション等における駐車場空き区画の収益化に対する需要も依然として拡大しております。さらに、従来は店舗型の不動産仲介業者にて月極駐車場を探していたユーザーが、当社が運営するポータルサイトを通じてインターネット経由で流入するケースがより増えてきております。また、テクノロジーの進化により、駐車場の管理・運営方法も変わってきており、駐車場業務のデジタル化が進んでおります。

ビジュアルライゼーション事業においては、市場環境は堅調に推移しており、当社グループが提供する不動産画像に対する需要は回復してきております。さらに非対面での営業ツールとして、VR技術を用いたバーチャルショッパの開発・制作を行い、事業規模を拡大しております。

このような経営環境のもと将来的な収益力の強化を目的として、引き続き既存社員の育成や新規の営業人員の獲得に努め、新規案件の獲得のための積極的なアプローチを行えるような営業体制の強化に注力するとともに、ベトナム子会社（AZOOM VIETNAM INC. 及びCGWORKS VIETNAM INC.）でのシステム開発・グラフィックデータ制作の体制を強化するための投資やリモート環境等の制約に関わらず営業活動を継続できるようIT面での新たな技術の開発を引き続き行ってまいります。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は13,479,945千円（前連結会計年度比27.9%増）、営業利益は2,613,460千円（前連結会計年度比43.0%増）、経常利益は2,607,735千円（前連結会計年度比42.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,831,836千円（前連結会計年度比42.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 遊休資産活用事業

遊休資産活用事業セグメントは、当社がインターネット上で運営する月極駐車場のポータルサイト「CarParking」（以下、「カーパーキング」といいます）を経由して、駐車場の紹介を行う「月極駐車場紹介サービス」と、駐車場オーナーから空き駐車場を当社がマスターリース（一括借り上げ）し、月極駐車場としてユーザーにサブリース（貸し付け）を行う「月極駐車場サブリースサービス」を中心として事業を行っております。当連結会計年度においては、カーパーキングを通じたインターネット経由でのユーザーの流入増加を背景に、引き続き既存社員の営業力強化やITを活用した業務効率化の推進に努め、マスターリース台数及びサブリース台数のいずれも堅調に推移し、当連結会計年度における駐車場問い合わせ件数は401,110件となり、当連結会計年度末におけるマスターリース台数（受託台数）は35,381台、サブリース台数（稼働台数）は32,883台となりました。あわせて、株式会社鉄壁が提供する月極駐車場特化型の賃料保証サービスの契約件数も堅調に推移しております。また、顧客による貸し会議室やジム、スタジオ等のレンタルスペースの運営をサポートするWEB予約システム「スマート空間予約」においては、システムの新規導入室数が増加しており、カスタマイズ対応案件については、様々な業種の企業へ導入しております。加えて、株式会社ダイバースは人材紹介の事業を行っております。

その結果、当連結会計年度の売上高は13,236,027千円（前連結会計年度比28.0%増）、セグメント利益は2,594,407千円（前連結会計年度比41.5%増）となりました。

② ビジュアルライゼーション事業

ビジュアルライゼーション事業セグメントは、不動産の可能性をより視覚的に伝えることを可能にするため、3DCG技術等の専門的なスキルを活用し、建物や空間の利用方法及び完成イメージをグラフィックデータとして制作し、販売するとともに、VR技術を用いて顧客の要望に応じた空間デザインのサービスを提供しております。当連結会計年度においては、グラフィックデータ作成の発注元であるディスプレイ業者が、インバウンド需要の増加などの影響により、集客施設への設備投資に持ち直しの動きがみられることから、市場環境は堅調に推移しておりますが、VR案件の受注は減少いたしました。また、2024年3月にリリースした生成AIによるレンダリングサービス「MyRenderer（マイレンダラー）」の契約件数増加に向けたプロモーション活動に注力しました。

その結果、当連結会計年度の売上高は247,840千円（前連結会計年度比16.0%増）、セグメント利益は20,465千円（前連結会計年度はセグメント損失261千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は7,365,787千円となり前連結会計年度末に比べて2,997,772千円増加しております。その主な要因は、業績が堅調に推移したこと、新株式発行及び自己株式の処分に伴い現金及び預金が増加したこと、月極駐車場の受託台数の増加に伴い前払費用が増加したことによるものであります。固定資産は1,503,763千円となり、前連結会計年度末に比べて317,733千円増加しております。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて3,340,269千円増加し、8,894,313千円となっております。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,640,151千円となり、前連結会計年度末に比べて237,929千円増加しております。その主な要因は、稼働台数の増加に伴い月極駐車場サブリースユーザーからの前受収益が増加したこと及び契約負債が増加したこと、未払法人税等が増加したことによるものであります。固定負債は422,936千円となり、前連結会計年度末に比べて20,409千円増加しております。以上の結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて258,338千円増加し、2,063,087千円となっております。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は6,831,225千円となり、前連結会計年度末に比べて3,081,930千円増加しております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,831,836千円計上したことにより利益剰余金が増加したこと、新株式発行及び自己株式の処分等に伴い自己株式が減少し、資本金が増加したこと、資本剰余金が増加したことによるものであり、自己資本比率は76.7%（前連結会計年度末は67.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は5,737,103千円となり、前連結会計年度末から2,665,574千円増加しました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は1,948,529千円（前連結会計年度は1,337,975千円の収入）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益を増加したこと、月極駐車場の受託台数の増加に伴う前払費用の増加、法人税等の支払による支出の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は459,818千円（前連結会計年度は253,871千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果獲得した資金は1,178,867千円（前連結会計年度は106,260千円の支出）となりました。これは主に配当金の支払による支出の減少、市場区分変更に伴う株式の発行により増加、自己株式処分により増加によるものであります。

（4）今後の見通し

雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって、緩やかに景気が持ち直していくことが期待されておりますが、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、アメリカの通商政策の影響などが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような環境の中、当社グループといたしましては、遊休資産活用事業においては、これまで蓄積した駐車場オーナー・ユーザー情報等の駐車場運営ノウハウをもとに、自社運営サイトである「カーパーキング」のブランディング及び集客力アップを図り、駐車場紹介件数、受託台数、稼動台数の増加に取り組んでまいります。ビジュアライゼーション事業においては、グラフィックデータのクオリティ向上、VR技術を用いた開発・制作に取り組んでまいります。また、営業人員の拡充や社内教育体制の整備を強化し、システム開発拠点であるベトナム子会社をはじめとした開発メンバーの拡充を進めることでシステム開発の効率性や質を高め、月極駐車場サービス以外にも、様々なツールや機能を開発し事業拡大に邁進してまいります。

以上により、2026年9月期通期連結業績は、売上高17,000,000千円（当期比26.1%増）、営業利益3,150,000千円（当期比20.5%増）、経常利益3,140,000千円（当期比20.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,200,000千円（当期比20.1%増）を見込んでおります。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期への配当

当社は、企業価値の向上と株主の皆様への利益還元を実施することを経営の重要政策の一つと位置付けております。配当につきましては、業績動向、財務状況、将来の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案しながら業績に応じた安定的な配当の継続を基本方針としております。

この方針に基づき当期の期末配当金につきましては、1株当たり212円（うち記念配当80円）とさせていただきます。

次期の配当金につきましては、本日（2025年11月13日）公表しました「配当方針の変更（累進配当・DOE指標の導入）に関するお知らせ」の通り、企業価値の向上と株主の皆様への利益還元を実施することを経営の重要政策の一つと位置付け、配当につきましては、業績動向、財務状況、将来の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案しながら、DOE（連結株主資本配当率）20%以上の水準維持および累進配当を基本とした、安定的かつ成長性のある配当を実施することを基本方針とし、1株当たり年間配当金126円（中間配当金63円、期末配当金63円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を採用していますが、IFRS（国際財務報告基準）については、今後も制度動向等を注視し適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,071,529	5,737,103
売掛金	147,686	218,374
仕掛品	2,550	2,852
販売用不動産	395,560	345,272
前払費用	708,577	999,480
その他	56,224	75,870
貸倒引当金	△14,115	△13,167
流動資産合計	4,368,014	7,365,787
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備及び構築物（純額）	83,735	85,333
工具、器具及び備品（純額）	31,905	33,247
有形固定資産合計	115,640	118,581
無形固定資産		
のれん	39,354	31,483
ソフトウェア	181,765	181,204
その他	201,420	326,944
無形固定資産合計	422,539	539,631
投資その他の資産		
差入保証金	276,507	342,286
繰延税金資産	187,571	200,324
その他	206,344	326,535
貸倒引当金	△22,573	△23,595
投資その他の資産合計	647,849	845,550
固定資産合計	1,186,029	1,503,763
繰延資産		
株式交付費	-	24,762
繰延資産合計	-	24,762
資産合計	5,554,044	8,894,313

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	116,320	136,280
未払法人税等	379,933	482,942
未払消費税等	184,568	177,827
前受収益	364,577	418,969
契約負債	118,017	151,973
賞与引当金	68,936	82,744
1年内返済予定の長期借入金	38,116	30,060
その他	131,751	159,354
流動負債合計	1,402,222	1,640,151
固定負債		
長期借入金	72,416	42,356
預り保証金	260,273	300,868
退職給付に係る負債	17,100	20,913
資産除去債務	52,737	58,797
固定負債合計	402,526	422,936
負債合計	1,804,749	2,063,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,543	300,233
資本剰余金	792,259	1,788,753
利益剰余金	3,044,095	4,728,219
自己株式	△180,516	△172
株主資本合計	3,722,382	6,817,033
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,181	2,392
その他の包括利益累計額合計	5,181	2,392
新株予約権	19,523	7,740
非支配株主持分	2,208	4,059
純資産合計	3,749,295	6,831,225
負債純資産合計	5,554,044	8,894,313

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）	当連結会計年度 （自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）
売上高	10,541,614	13,479,945
売上原価	6,125,288	7,782,569
売上総利益	4,416,326	5,697,376
販売費及び一般管理費	2,588,142	3,083,916
営業利益	1,828,184	2,613,460
営業外収益		
受取利息	335	5,678
償却債権取立益	2,023	-
その他	1,227	-
営業外収益合計	3,587	5,678
営業外費用		
支払利息	993	982
為替差損	3,360	1,615
株式交付費償却	-	3,102
上場関連費用	-	5,474
その他	245	229
営業外費用合計	4,599	11,403
経常利益	1,827,172	2,607,735
特別損失		
固定資産除却損	-	48,931
特別損失合計	-	48,931
税金等調整前当期純利益	1,827,172	2,558,803
法人税、住民税及び事業税	610,196	737,816
法人税等調整額	△70,173	△12,753
法人税等合計	540,023	725,063
当期純利益	1,287,148	1,833,739
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失（△）	△874	1,902
親会社株主に帰属する当期純利益	1,288,023	1,831,836

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益	1,287,148	1,833,739
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,313	△2,788
その他の包括利益合計	△1,313	△2,788
包括利益	1,285,835	1,830,951
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,286,709	1,829,048
非支配株主に係る包括利益	△874	1,902

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	63,804	789,520	1,874,058	△180,516	2,546,866
当期変動額					
新株の発行	2,739	2,739			5,478
自己株式の処分					
剰余金の配当			△117,986		△117,986
自己株式の取得					
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,288,023		1,288,023
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	2,739	2,739	1,170,036	－	1,175,515
当期末残高	66,543	792,259	3,044,095	△180,516	3,722,382

	その他の包括利益累計額 為替換算調整勘定	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	6,494	19,040	3,116	2,575,518
当期変動額				
新株の発行				5,478
自己株式の処分				
剰余金の配当				△117,986
自己株式の取得				
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,288,023
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△1,313	483	△908	△1,738
当期変動額合計	△1,313	483	△908	1,173,776
当期末残高	5,181	19,523	2,208	3,749,295

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	66,543	792,259	3,044,095	△180,516	3,722,382
当期変動額					
新株の発行	233,689	233,689			467,379
自己株式の処分		762,804		180,655	943,460
剰余金の配当			△147,713		△147,713
自己株式の取得				△312	△312
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,831,836		1,831,836
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	233,689	996,494	1,684,123	180,343	3,094,651
当期末残高	300,233	1,788,753	4,728,219	△172	6,817,033

	その他の包括利益累計額 為替換算調整勘定	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	5,181	19,523	2,208	3,749,295
当期変動額				
新株の発行				467,379
自己株式の処分				943,460
剰余金の配当				△147,713
自己株式の取得				△312
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,831,836
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△2,788	△11,783	1,851	△12,720
当期変動額合計	△2,788	△11,783	1,851	3,081,930
当期末残高	2,392	7,740	4,059	6,831,225

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）	当連結会計年度 （自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,827,172	2,558,803
減価償却費	132,636	171,048
のれん償却額	7,870	7,870
支払利息	993	982
固定資産除却損	-	48,931
売上債権の増減額（△は増加）	△41,048	△70,687
前払費用の増減額（△は増加）	△172,991	△290,902
販売用不動産の増減額（△は増加）	△106,564	50,287
前受収益の増減額（△は減少）	94,184	54,391
契約負債の増減額（△は減少）	22,175	33,955
差入保証金の増減額（△は増加）	△76,338	△65,778
預り保証金の増減額（△は減少）	26,776	40,595
未払金の増減額（△は減少）	△1,344	19,959
未払消費税等の増減額（△は減少）	100,425	△6,741
貸倒引当金の増減額（△は減少）	12,530	74
賞与引当金の増減額（△は減少）	11,268	13,808
その他	16,557	60,787
小計	1,854,304	2,627,386
利息及び配当金の受取額	336	5,678
利息の支払額	△993	△982
法人税等の支払額	△515,671	△683,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,337,975	1,948,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,867	△34,558
無形固定資産の取得による支出	△231,725	△304,833
敷金の差入による支出	-	△120,574
その他	△8,279	147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253,871	△459,818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	60,000	-
長期借入金の返済による支出	△51,256	△38,116
株式の発行による収入	-	446,382
自己株式の処分による収入	-	924,086
配当金の支払額	△117,957	△147,697
その他	2,953	△5,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,260	1,178,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,250	△2,003
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	975,592	2,665,574
現金及び現金同等物の期首残高	2,095,936	3,071,529
現金及び現金同等物の期末残高	3,071,529	5,737,103

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月6日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月23日付で、新株式発行51,800株及び自己株式の処分118,200株を実施しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、新株式発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ206,731千円増加し、自己株式の処分により自己株式が180,655千円減少し、資本剰余金が762,804千円増加しました。当連結会計年度末において資本金が300,233千円、資本剰余金が1,788,753千円、自己株式が172千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主として提供するサービスの特性を基礎としたセグメントから構成されており、以下の2つを報告セグメントとしております。

「遊休資産活用事業」は、当社がインターネット上で運営する月極駐車場のポータルサイトを經由して、駐車場の紹介を行う月極駐車場紹介サービスと、駐車場オーナーから空き駐車場を当社がマスターリース（一括借り上げ）し、月極駐車場としてユーザーにサブリース（貸し付け）を行う月極駐車場サブリースサービスを中心として事業を行っております。

「ビジュアライゼーション事業」は、不動産の可能性をより視覚的に伝えることを可能にするため、3DCG技術等の専門的なスキルを活用し、建物や空間の利用方法及び完成イメージをグラフィックデータとして制作し、その販売を行っております。また、VR技術を用いて、顧客の要望に応じた空間デザインを行うサービスを提供しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結財務 諸表計上額
	遊休資産活用事業	ビジュア ライゼーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,327,874	213,740	10,541,614	—	10,541,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,000	—	11,000	△11,000	—
計	10,338,874	213,740	10,552,614	△11,000	10,541,614
セグメント利益又は損失（△）	1,833,000	△261	1,832,738	△4,554	1,828,184
セグメント資産	2,871,284	91,963	2,963,248	2,590,796	5,554,044
その他の項目					
減価償却費	127,778	4,858	132,636	—	132,636
のれんの償却額	7,870	—	7,870	—	7,870
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	234,738	10,854	245,592	—	245,592

（注） 1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失（△）の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失（△）の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	遊休資産活用事業	ビジュアルライゼーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,232,105	247,840	13,479,945	-	13,479,945
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,922	-	3,922	△3,922	-
計	13,236,027	247,840	13,483,868	△3,922	13,479,945
セグメント利益	2,594,407	20,465	2,614,873	△1,413	2,613,460
セグメント資産	3,859,399	106,206	3,965,606	4,928,707	8,894,313
その他の項目					
減価償却費	164,182	6,866	171,048	-	171,048
のれんの償却額	7,870	-	7,870	-	7,870
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	335,159	4,233	339,392	-	339,392

- （注）1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。
- 2 セグメント利益の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 3 セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	遊休資産活用事業			ビジュアルライゼーション事業	合計
	月極駐車場紹介サービス	月極駐車場サブリースサービス	その他サービス		
外部顧客への売上高	388,843	9,632,802	306,228	213,740	10,541,614

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	遊休資産活用事業			ビジュアル ライゼーション事業	合計
	月極駐車場 紹介サービス	月極駐車場 サブリースサービス	その他サービス		
外部顧客への売上高	453,910	12,292,177	486,017	247,840	13,479,945

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

	遊休資産活用事業	ビジュアルライゼーション事業	合計
当期償却額	7,870	—	7,870
当期末残高	39,354	—	39,354

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

	遊休資産活用事業	ビジュアルライゼーション事業	合計
当期償却額	7,870	—	7,870
当期末残高	31,483	—	31,483

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	315円44銭	555円68銭
1株当たり当期純利益	109円07銭	153円62銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	107円54銭	151円64銭

(注) 1 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

2 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,288,023	1,831,836
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益(千円)	1,288,023	1,831,836
普通株式の期中平均株式数(株)	11,808,869	11,924,803
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	168,417	155,347
(うち新株予約権(株))	(168,417)	(155,347)
希薄化効果を有しないため、潜在株 式調整後1株当たり当期純利益の算 定に含めなかった潜在株式の概要	連結子会社株式会社CGworks発行 ストック・オプション1種類 3,650個 目的となる株式の種類及び数 子会社の普通株式 3,650株	連結子会社株式会社CGworks発行 ストック・オプション1種類 3,350個 目的となる株式の種類及び数 子会社の普通株式 3,350株

（重要な後発事象）

（株式分割及び定款の一部変更）

当社は、2025年7月31日開催の取締役会決議に基づき、2025年10月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

1. 株式分割の目的

株式の分割により、当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めるとともに投資家層の拡大向上を図ることを目的としております。

2. 株式の分割の概要

（1）分割の方法

2025年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割しております。

（2）分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式総数	6,136,200株
②今回の分割により増加する株式数	6,136,200株
③株式分割後の発行済株式総数	12,272,400株
④株式分割後の発行可能株式総数	38,400,000株

（3）分割の日程

①基準日公告日	2025年9月12日
②基準日	2025年9月30日
③効力発生日	2025年10月1日

3. 定款の一部変更

（1）変更の理由

株式の分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2025年10月1日をもって、当社定款の一部を変更しております。

（2）定款変更の内容（下線部は変更箇所を示しています）

変更前	変更後
（発行可能株式総数） 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>19,200,000株</u> とする。	（発行可能株式総数） 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>38,400,000株</u> とする。

（3）変更の日程

定款の一部変更の効力発生日 2025年10月1日

4. その他

（1）資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、当社の資本金の額に変更はありません。

（2）新株予約権の行使価格の調整

今回の株式分割に伴い、2025年10月1日の効力発生日と同時に新株予約権の目的となる1株あたりの行使価格を以下のとおり調整しております。

	調整前行使価格	調整後行使価格
第4回新株予約権	150円	75円
第5回新株予約権	793円	397円

5. 期末配当

今回の株式分割は、2025年10月1日を効力発生日としておりますので、2025年9月30日を基準日とする2025年9月期の期末配当は、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。